沸き立つモノづくりの力

北陸の産業界に活気がみなぎっている。北陸経済研究所（富山市）の調査によると、北陸3県（富山、石川、福井）の域内総生産の規模は実質ベースで2014年4月の消費税率引き上げ前の水準を上回り、名目ではリーマン・ショック発生前に近い水準になるほど回復が進んでいる。個人消費は回復の度合いを強め、北陸新幹線の延伸工事も本格化して公共事業も拡大。製造業の生産増加も続いている。ただ、その反面、労働力不足が地域経済の課題として顕在化してきた。北陸3県とも全国屈指の有効求人倍率に達し、地元の各企業は人手の確保が困難な状況に直面している。この事態に対し、各県ともUターンの学生や女性、シニア層の活用などを促す施策を打ち、企業の人材確保の支援に躍起になっている。

活気みなぎる北陸経済

各県が人材確保を支援

厚生労働省が17年10月末に発表した9月の有効求人倍率（季節調整値）は、北陸3県とも非常に高い数値を示した。福井県は前月比で0・12ポイント低下したが、それでも1・98倍と全国2位の高水準。富山県も1・85倍の同3位、石川県は1・84倍の同5位といずれも全国上位を占め、全国平均の1・52倍をはるかに上回る深刻な人手不足の状態が続いている。

背景にあるのは、北陸経済の好調さにほかならない。同研究所の調査では北陸3県の同年4―6月期における経済成長率は実質ベース0・6%（年率ベース2・2%）、名目ベース0・7%（年率ベース2・7%）の増加。内需を中心に国内総生産が全体として上向く中で、北陸も全国同様の高い伸びを示している。

その副作用として表れた労働者不足。地域の各企業が人手をまかないきれないが故の機会損失に悩む中、北陸の各県とも対策に乗り出した。

Uターン学生、女性の力も

石川県

石川県は「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」（ILAC）を通じ、さまざまな関連施策を実行している。Uターン学生の県内就職を支援するため、県内企業に精通したマッチング支援員や人材コーディネーターがUターン・Iターン希望者の相談に乗り、石川県内の求人情報の中から、相談者に適した職場を見極めて紹介。こうした人材と企業のマッチングにより、すでに多くの人材が県内に就職している。

女性やシニア層が働きやすい環境づくりも進める。同センターが設立した「女性ジョブサポート石川」では、製造業の仕事の詳細がわかるイベントや、CADの操作などの資格取得を支援。企業に対して女性が働きやすい職場に関するセミナーを開催するといった活動をしている。

また、高齢者の就職支援や企業の高齢者活用支援をする「高齢者ジョブサポート石川」では、高齢者と県内企業のマッチングイベントをしながら、軽作業を希望する高齢者が多いことを鑑み、企業に対し高齢者が働きやすいように仕事の内容を工夫するよう働きかけている。

IoT活用の補助金

福井県

福井県も人手不足の県内企業をサポートするため、IoT（モノのインターネット）活用の補助金を設けるなど取り組みを急いでいる。11月にはIoTなどによる製造業の生産性向上に取り組むインダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ（IVI、西岡靖之理事長＝法政大学教授）と共催で、福井市内で2日間のIoT実践セミナーを開催。製造業13社・19人が導入法を熱心に学んだ。

奨学金返還を助成

富山県

富山県では学生のUターン、Jターンの就職を支援するため、富山県内の中小・中堅企業に就職する県外在住の理工系学部の大学生に対し、奨学金返還を助成する制度を始める。同様の制度を理工系大学院生・6年生薬学部生を対象に行っていたが、産業界のニーズに応じ、助成対象を拡大する。

19年4月に登録した県内の中小・中堅企業（17年度は55社）に入社する県外在住の理工系学部の学生に対し、2年分の奨学金を助成する。1社につき2人まで。対象奨学金は日本学生支援機構第1種（無利子）奨学金か富山県奨学資金。就業後、毎年度末に返還した奨学金相当額を県から助成対象者本人に支払う。登録企業に10年間就業した場合は、奨学金残額を一括して日本学生支援機構などに払う仕組みだ。

人手不足の不安要素を抱えながら活況を呈する北陸経済。次代を担う人材をいかに取り込むかが成長持続のカギを握っている。

石川県は県外でも企業とのマッチングの場を設けている

IVIと共催の実践セミナー（福井県工業技術センターで）

北陸3県の経済発展を支える―

北陸経済連合会

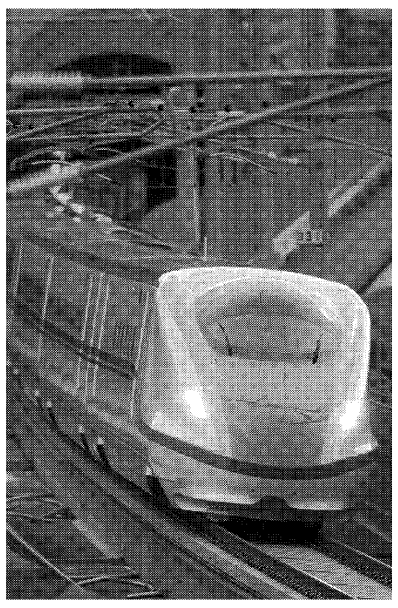
北陸経済連合会は11月に創立50周年を迎えた。高度経済成長期の真っ只中だった1967年に、北陸3県を基盤とした企業が集まって発足して以来、北陸地方における地域経済の課題を踏まえた提言活動を進めてきた。大きな節目を迎えた17年は、他地域の経済団体との交流と連携の強化に注力しながら、観光振興や北陸新幹線関連の課題解決に取り組んでいる。

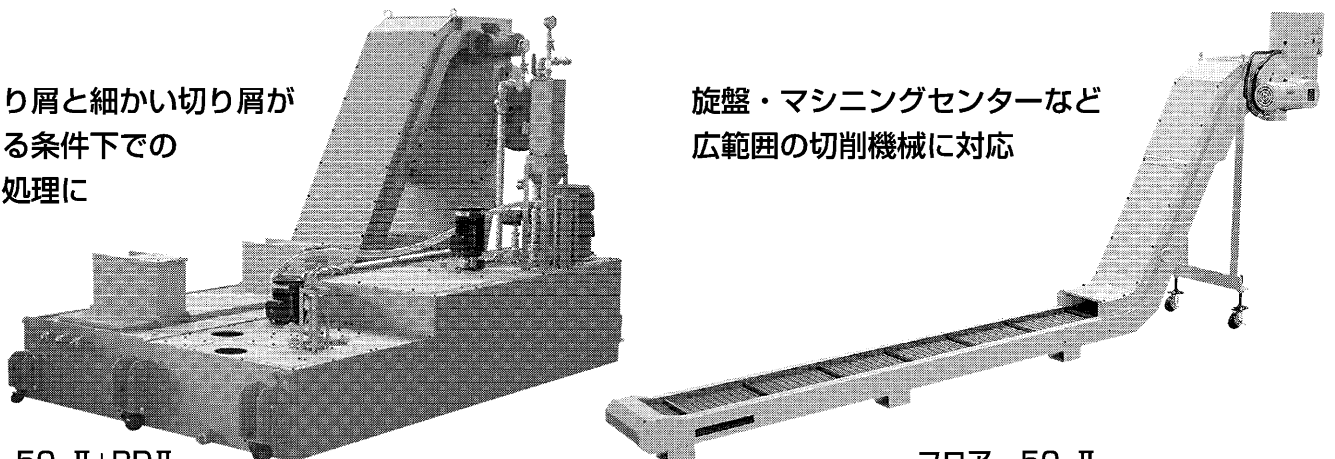
まず同年10月4日に西日本の5経済連合会と「西日本経済協議会」を石川県金沢市で開催。さらに、11月9日には同市で「北陸地方経済懇談会」を開き、経団連と交流した。これらの会では地域産業の振興・活性化に向けて連携することで一致。新たな観光需要の拡大や、人口減少社会での人手不足に対応するため女性の社会進出や高齢者の活用を提言した。

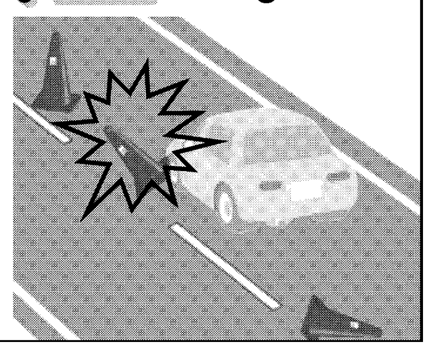
また、地域創生に欠かせない北陸新幹線の活性化についても、23年春ごろ予定の金沢―敦賀間の早期開業と、46年ごろとされる新大阪までの全線整備の可能な限りの前倒しを訴えている。関西経済連合会とも緊密に連携し、開業の経済効果を試算して18年に公表する。政府への働きかけも強める方針だ。

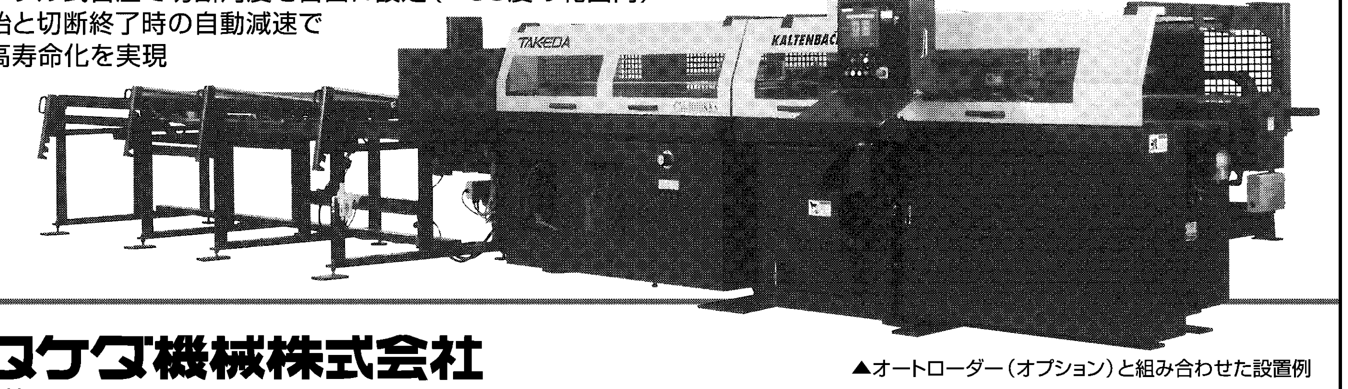
なお、創立50周年の記念式典は18年5月に開く予定の同年度定期総会と同時に開催する。

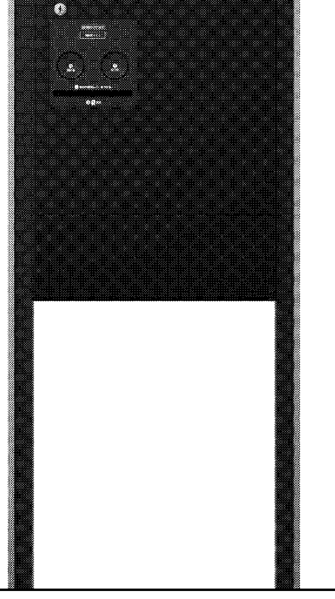
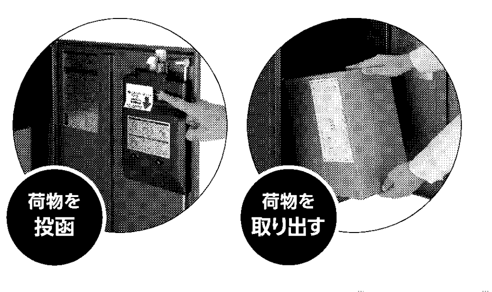
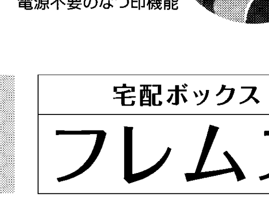
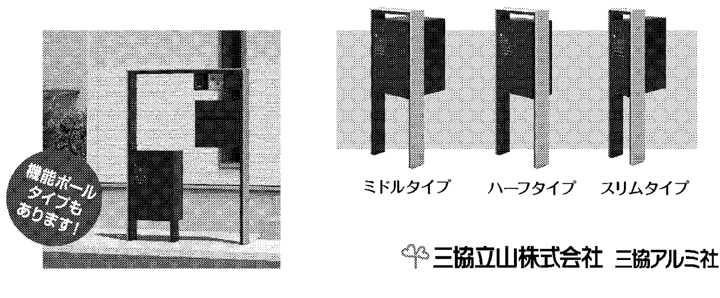
北陸新幹線全線開業の前倒しを強く働きかけていく


北陸新幹線延伸もテーマ


切り屑とクーラント液の処理 フルラインナップ
長い切り屑と細かい切り屑が
混在する条件下での
切り屑処理に
旋盤・マシニングセンターなど
広範囲の切削機械に対応
フロアー50-Ⅱ+PDⅡ
フロアー50-Ⅱ
Imagine & Create
株式会社 白山機工
〒924-0004 石川県白山市旭丘4丁目10番地
TEL（076）275-6631㈹ FAX（076）276-8371
ホームページ http://www.hakusankiko.co.jp/
E-mail eigyou@hakusankiko.co.jp
ISO 9001 FM 56524
ISO 14001 EMS 56529


安全・安心・アイペック
IoTで、現場をもっと安全に！
加速度センサーの情報を、スマホにお知らせ
あなたの現場にぴったりの
簡易防災システム登場
株式会社 アイペック
アイペック IoT 検索


CM-1010KKS
TAKEDA
SHARP SAW SERIES
定寸装置付角度切り丸鋸切断機
自由な角度で高精度に切断！
● 台形形状の製品も断取り替えなしで切断が可能
● 駆動部はカルテンバッハ社製
● 旋回テーブル式台座で切断角度を自由に設定（±60度の範囲内）
● 切断開始と切断終了時の自動減速で
鋸刃の高寿命化を実現
▲オートローダー（オプション）と組み合わせた設置例
タケダ機械株式会社
本社 〒923-1101 石川県能美市粟生町西132 TEL（0761）58-8211 FAX（0761）58-6861 URL http://www.takeda-mc.co.jp





Life with Green Technology
三協アルミ
宅配ボックスがあれば、いつでも荷物が受け取れます
◎時間指定なしで、いつでも受け取れます。
◎配達時間を気にせず、外出ができます。
◎再配達の手間がいりません。
◎1つの荷物に1回限定のなつ印でトラブルを防止します。
荷物を投函
荷物を取り出す
電源不要のなつ印機能
機能ポールタイプもあります！
ミドルタイプ ハーフタイプ スリムタイプ
宅配ボックス
フレムス
三協立山株式会社 三協アルミ社
alumi.st-grp.co.jp